

今月は今こちらで行っている活動や感じたことについて書こうと思う。

海外から見る日本の評価

ほとんどの外国人が口を揃えて言うのが“日本は素晴らしい国”と言う。理由として、技術やサービス、文化などどの分野に置いても素晴らしいクオリティーだからとたくさんの人が言っている。これは、留学をした日本人も同じことを言っており。なぜなら日本の製品やサービスは目の付け所がとにかく素晴らしく、日本にいるとあたり前と思うことが海外に行くと、それがあたり前ではないことに気付くからである。だが、そこで問題が起きた。

iPhone VS Galaxy

プレゼンテーションの授業があった。友人が iPhone と Galaxy についてどちらが素晴らしいのか？という凄く熱いプレゼンが行われ、質疑応答の際もみんなが白熱していた。だが、この時私は凄く悲しくなった。なぜならそこに日本のスマートフォンが取り上げられていなく、評価すらもされていなかったからだ(部品の部分等は置いておいて)。言葉を悪くして言えば同じ土俵にも立っていないということである。このスマートフォンの討論は日本でも同じようなことを話している人がたくさんいたが、その時は全く何も思わなかった。だが、こちらに来て授業でのプレゼンや、様々な国の経済について、資源についての話を聞く機会が多く、私自身の知識と情報についてはとても薄すぎるが、made in Japan クオリティーを今以上にもっと推していけないと、今ある日本の評価は保てないなと感じてしまった。

日本の凄さをプロモーション計画

これではダメだと思い、少しでもいいので日本の良い物は海外でも評価されるべきだと思い、“日本って凄いなだぜ！！”ということアピールしようと考えた。

自分に出来ること。こちらだから出来ること。

どうやってアピールしようかと考えた。ただ単に“日本って凄いなだぜ！”といっても全く相手に響かないと思い、とにかく、今の自分に出来ること、ニューヨークだから出来ること、メディア情報学科だから出来ることなどを紙に書きまくった。

次に、アメリカに無くて自分が使いたい物をピックアップし、ニューヨークにマッチしそうな物をチョイスし“なぜこれが必要なのか”、“最終的な目標”、“自分に出来ること”を考え、文章化した。そして、それぞれの企業に送り、返信を待った。

文章愛が一方通行

メールが来るたび気分はルンルンでチェックをするのだが、お目当ての企業から全くと言っていいほど返信が来ず、全敗であった。“何でなんだ！”と思い原因を探した。

時間が経ち、改めて自分の文章を読んでみると、

“何が言いたいのだコイツ？しかも長いし...”

ということだ。自分がもし、このメールをもらったなら確実に返信をしないし、とにかく気持ちが悪かった。

このままではただの自己満足になってしまうので、文章をもう一度考え直した。前まではひとりよがりの文章であり一方通行であった。そのため、前置きや意味の分からない表現はバッサリ切り、出来るだけ文章は短くそして“相手のことを考えてわかりやすく書く”ということに心がけた。そして、どの部署に送るのか、何時が一番読みやすい時間帯か？など送る時間帯なども自分なりに色々戦略を立ててメールを送った。

思いは実を結ぶ

結果は、ダメだった物が多いが、明らかに以前よりも返信量が多くなった。あるデザイン会社の方には、こういう風にプロモーションしてはどうでしょうか？などと、アドバイスも頂け、前には無かった反応が返ってきた。実際に OK の答えが頂ける企業や、ボストンに行き某有名大学のイベントに参加してくれないか？という依頼など思っていた以上にいい答えを頂けることが出来た。

そして今は各々の製品のプロモーションをこちらで行っており、自分に出来ることをしている。おかげさまでボストンへもタダで行くことができ嬉しい限りである。

グイグイ来ている NUboard

今私の中で一番脂が乗って紹介できるプロモーション活動は欧文印刷の NUboard である。

これはノート型のホワイトボードであり、2012 年度グッドデザイン賞を受賞した製品である。

Good Design Award 2012 (<http://www.g-mark.org/award/describe/39114>)

欧文印刷株式会社 NUboard (<http://www.obun.co.jp/cansay/nuboard.html>)

私はこれの How to 動画と簡単な紹介サイトを作り、ホームパーティーで紹介など様々なことをしている。動画に関して言えばアメリカだけではなく全世界にも配信できるようにと考え、友人の協力してもらった。その結果 8 カ国対応(アラビア語、イタリア語、スペイン語、トルコ語、フランス語、韓国語、中国語、英語)することができ、今ではウクライナの人まで視聴して頂けている。とても嬉しいことである。

動画はこちら (<http://youtu.be/X8yug6OBaj0>) ※良ければシェアして頂けるとうれしいです。

このように実際動いてみると意外と大きく動くことがあり今は本当に楽しくて仕方が無い。そして色々な所で宣伝をしているのもあり、こちらの学校の雑誌に載せてみないか？と声がかかっている。時間的に難しい部分があるが残りの一ヶ月これが実現出来るように頑張っていきたい。